

Autonomy

独立行政法人
地域医療機能推進機構 (JCHO)



大阪病院

Autonomy

Autonomy、それは自ら考え、自らを律し、最善を尽くすこと。

大阪病院では一人ひとりがそんな自律した看護師であることを理想にしています。

これからの地域医療の現場で「いのちとくらし」を支えるために。患者さんの代弁者となり、あらゆるチームを率いていくために。私たちが理想とするのは自らを信じ、律し、成長していく看護師。そして、厳しい心を持

ち、道を切りひらき、そんな自分に誇りを持てる看護師。充実した教育体制、互いを尊重しあえる職場環境のもと、自律した看護師へとともに成長していきませんか？

「いのちとくらし」に寄り添うために、
一人ひとりが自律した看護師に。

看護部長挨拶

大阪病院は大阪市の二次医療圏にあり、565床の急性期病院です。地域医療機能推進機構（JCHO）グループの一員として「地域住民の健康で幸福な生活を支える看護」を理念に掲げ、「いのちとくらし」に寄り添う看護の提供に努めています。そのためには何事にも関心を持って行動すること、内省する気持ちを忘れず深く考え、対話することが必要です。自律した看護師を目指すなら、ぜひ私たちの仲間になりませんか？強く、美しく、輝くあなたと出会えることを、心から楽しみにしています。

大阪病院看護部長 谷岡 美佐枝



看護部の理念

地域住民の健康で
幸福な生活を支える看護

看護部の方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
6. 人を癒し人を活かす職場づくりに努めます。

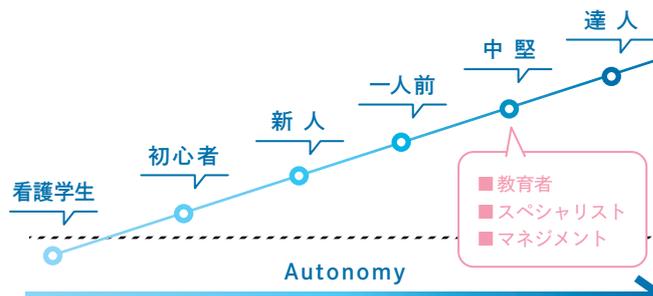
autonomy
を支える

キャリア開発

自ら考え、自らの言葉で語り、チームを動かしていく。
そんな自律した看護師へと一歩一歩ステップアップしていける、
それが大阪病院の魅力です。

ラダー制度

看護師は日々の患者さんとの関わりや仕事を通して成長していきます。臨床ラダー制度はこの考え方を基本に、臨床看護実践能力の到達目標(評価基準)を、段階ごと(ラダー)に示したものです。看護師個々の臨床看護実践能力や意欲に焦点を当て、個人のキャリアを尊重した育成のためのシステムとしています。



ローテーション研修

1年目の6月から2月までのいずれかの時期に、自部署を離れICU・手術室・治療検査・救急・外来・看護ケア部門を連続して6週間、内科系又は外科系病棟の2週間、計8週間(2ヶ月)を1組5~6名でローテーションします。基本的看護の知識・技術の習得を目的とし、少人数制で集中的な指導が受けられ、根拠を考えながら実践できます。



ICUでの研修

ローテーション研修について

1年目の秋頃にローテーション研修を受けました。当時は徐々に自部署での業務や看護にも慣れ、「なぜ?」と疑問を持たなくなることが当たり前になりつつありました。そんなときにローテーション研修で一から振り返りながら実践を行うことで、日頃何となく提供していた看護の意味を改めて学ぶ機会になりました。また、研修は別の部署に配属された同期たちとグループで行います。1年目の看護師同士で共感したり、意見をシェアったり、時には悩みを打ち明けあったり……。そんな時間を過ごすことで視野を広げられたと同時に、同じ思いを持つのは自分だけじゃないと、とても心強くなりました。

2018年入職 山下 瑞貴



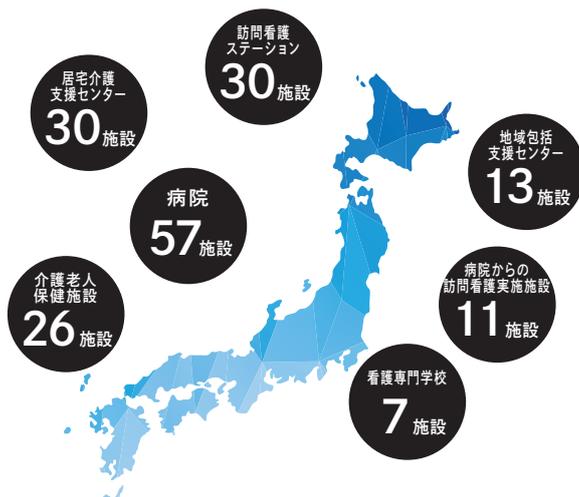
autonomy
を支える

環境

超急性期、がん医療、緩和ケア、地域医療……。大阪病院は日本全国でさまざまな特徴や機能を持った医療施設を展開するJCHOグループの一員です。

安心の地域医療を支える JCHO のスケールメリット

全国57施設のJCHOグループは、急性期医療～回復期リハビリ～介護のシームレスなサービスを提供しています。働く職員のライフステージに合わせて地域を選べる、といったメリットが生まれ、「配偶者の転勤に合わせて転動したい」「実家の近くで働きたい」などの希望を叶えることができます。



I プリセプター制度

看護師一人ひとりが、大阪病院にとって大切な宝物です。だからこそ私たちは専門職業人として、人が人を育み、称え、導くことができる組織風土を大切にしています。当院では新人看護師の一番身近な存在であるプリセプター看護師をはじめ、すべてのスタッフが真珠の成長を守る母貝のごとく一体となって新人看護師を包み、強く・美しく・光り輝く☆看護師に成長できるよう Pearl System と名付けた支援体制をとっています。



プリセプター看護師の言葉で心が軽くなりました。

なかなか上手くいかず落ち込んでいたときに、プリセプター看護師から「1年目だからできなくて当たり前。できないことを捕うために先輩たちがいるし、頼れる先輩ばかりだからなんでも相談してきていいよ」と声をかけていただきました。その言葉で心がぐんと軽くなり、それまで以上に先輩たちに相談しやすくなりました。プリセプター制度のある病院を選んで、本当に正解でした！

2019年入職 平岡 志菜

新人看護師にとって一番の理解者に。

漠然とした不安に包まれていた新人時代、私を支えてくれたのが当時のプリセプター看護師でした。私とそれほど年齢が変わらないのに、どんな時も冷静で、いつも笑顔を絶やさない。その先輩がいたからこそ、頑張ることができたと感謝しています。今は、あの頃の先輩と同じように一番の理解者になることが目標。新人看護師とともに、私自身も成長していきたいと思っています。

2016年入職 麻野 萌



ヘルシーワークプレイスについて

誰もが生き生きと誇りを持って働きつづけることができる。今では当たり前となったそんな働き方を、大阪病院ではずっと大切にしてきました。働き方やライフスタイルは、時代によって変化していきます。だからこそ、常に現場のスタッフが自分の力を発揮できるように勤務体系の見直しなども積極的に行っています。そのひとつが副看護師長会でのチーム活動。「勤務体制チーム」では現在、育児や大学院への進学など、ライフスタイルの変化に合わせて働けるような勤務スタイルの確立を目指して、幅広い議論を繰り返しています。オンとオフの切り替えがしやすく、自分も他人も大切にできる、そんな職場で、ぜひ働いてみませんか？

autonomy
を支える

看護実践

日本の医療の課題である地域包括ケアシステムの構築に向けて、看護師一人ひとりが成長し、自律しながらさまざまな取り組みに力を入れています。

チーム医療での活躍

患者さんの思いを叶えるために、今どんなチームが必要で、どんな医療やケアを提供するのか。その判断の中心にいるのは、患者さんの一番近くで働く看護師たち。医師や薬剤師など、多職種と連携しながら、多くの看護師がチームリーダーとして活躍しています。



糖尿病委員会
糖尿病看護認定看護師

前田 結香

糖尿病の治療は、患者さんの普段の生活と切り離せません。だからこそ、患者さんの思いや、実際にどのように療養されているかという情報がとても大切。患者さんに一番近い存在として必要なことをメンバーに伝え、チームとしてどのように関わればよいかを話し合える機会をつくるのが私自身の役割だと思っています。チームの関わりを通して患者さんが前向きに療養に取り組まれている姿を見ると、とても嬉しくなります。

感染対策チーム／抗菌薬適正使用支援チーム
特定行為研修修了看護師

柴谷 涼子

感染管理認定看護師として働いていた頃は、感染症患者さんの把握と感染症を発生させないための感染制御がメインの業務。特定行為研修を修了した現在は、それらに加えて感染症に関わる提案を医師や薬剤師といった人たちに行う機会が増えました。今、特に問題となっている耐性菌の発生を抑えるには、私たちのチームの活躍が不可欠。抗菌薬の適正使用を推進できるよう、メンバー一丸となって取り組んでいます。

特定行為研修指定研修機関として

地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域で暮らすみなさんの期待に応えることがJCHOの使命。JCHOグループの各病院は特定行為10区分において、厚生労働大臣が指定する研修機関に指定されています。

リンクナースの働き

認定・専門看護師といったスペシャリストをサポートしながら、各病棟のレベルアップを図るのがリンクナースの役割。主にキャリア3年以上の看護師が担当し、キャリアアップのきっかけにもなっています。

地域医療を支えるスペシャリスト

専門看護師	認定看護師
がん看護 老人看護	皮膚排泄ケア、感染管理、集中ケア、がん化学療法看護 透析看護、乳がん看護、糖尿病看護、小児救急看護、 脳卒中リハビリテーション看護、手術看護、救急看護、 新生児集中ケア

質の高い医療を提供するために、多くのスペシャリストが活動中。地域連携を行うためにネットワークを駆使し、協働に向けた検討を行うなど、活躍の場は院内外に広がっています。



Japan Community Health care Organization: JCHO Osaka Hospital.



ACCESS

- JR 東西線 新福島駅（3番出口）から徒歩 5分
- 京阪電車 中之島駅から徒歩 5分
- JR 環状線・阪神電車 福島駅から徒歩 10分
- 阪神電車 野田駅から徒歩 10分
- 地下鉄 千日前線玉川駅から徒歩 10分
- 市バス：大阪駅前より
- 鶴町四丁目 [55] 方面 「堂島大橋北詰」すぐ
- 西島車庫前 [56] 方面 「福島西通」徒歩 5分
- 西島車庫前 [56] 方面 「大阪福島税務署」徒歩 5分
- 船津橋 [53] 方面 「堂島大橋」徒歩 5分



独立行政法人 地域医療機能推進機構

大阪病院

地域医療支援病院／日本医療機能評価機構認定病院／大阪府がん診療拠点病院

診療科

小児科・NICU/婦人科・乳腺外科/産科/脳外科・神経内科・SCU/循環器内科・心臓外科・腎臓内科/消化器外科/消化器内科/
呼吸器内科・呼吸器外科/泌尿器科・整形外科/整形外科/耳鼻咽喉科・眼科・歯科口腔外科/糖尿病内科・皮膚科・形成外科/ICU

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78 TEL .06-6441-5451(代) FAX.06-6445-8900

<https://osaka.jcho.go.jp/>